

201st IBB Seminar

人工基底膜を創る

講師：**野水基義教授**

東京薬科大学 薬学部

病態生化学教室

日時：平成30年1月19日（金）15:00～16:30

会場：東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

第二会議室 22号館（1階）



Abstract: 近年、細胞外マトリックス、特に基底膜を模倣したバイオマテリアルの開発が盛んに行われており、再生医療のためのツールとして重要視されている。特に、基底膜抽出物のマトリゲルが、細胞工学的研究において数多く用いられその有用性が証明されてきているが、マウス肉腫由来であるため臨床応用は不可能である。そこでマトリゲルに匹敵する合成バイオマテリアル、すなわち人工基底膜、の開発が待ち望まれている。本講義では、基底膜の主役的存在であるラミニンの機能を合成ペプチドを用いて分子解剖することにより活性配列を同定し、さらにそれらをマトリックス上で再構築したペプチド-マトリックスを用いた「人工基底膜の創製」をめざした演者らの最近の取り組みについて紹介する。

お問い合わせ：生体材料工学研究所

メディシナルケミストリー分野

田辺、亀井(内線 8036)